

4月のテキゴト

新しい企画「おいでよ いずみ」の日、はじまり、はじまり!!

毎月第2日曜日(10:00～12:00)は、これまで「いずみ」が集めてきた環境問題に関連する「DVD」や「ビデオ」の上映会と、ボランティアSさん手作りの「紙芝居」上演の日に決定。

まずは4月8日、[知ろう、学ぼう、考えよう]と「地球温暖化環境防止のためのDVD」を上映し、ボランティア自らの勉強会でスタート。今後、参加者の年齢層を考慮しながら、上映プログラムを企画。今後の予定は広報・いずみのホームページなどに掲載。

7月には、2001年話題のドキュメンタリー映画「WATARIDORI(それは必ず戻ってくるという約束の物語)」上映。

「いずみ」に多くの人たちが集って、賑やかになるといいなあ。是非、来てね。

(Y・I)



4月22日(日) いずみ理科教室 -身近な生き物探検隊!

昨年に続いて開催された講座です。小学校高学年から中学一年生の男女計20名が参加しました。環境調査の専門家、(株)環境総合研究所の吉田先生と栗原先生に、自然を見つける練習として、ネーチャーゲームで教えて頂きました。目で見つけるだけではなく、体で感じる事がテーマです。まずは、高麗川の河原でみなで耳を澄ませました。鳥の声、風の音、静かだと思っていた河原でも色々な音が聞こえました。次に、1本の木に先生が隠したものを見つけるゲームです。見つけやすい色のもの、保護色になっているもの、見つけやすいものの陰に隠れているものが見つけにくい理由、虫たちや花がなぜ目立ったり、隠れたりするのか等も教えてもらいました。10個を見つけた子が最高で11個全部を見つけることはできませんでした。この後、花を観察しました。花を観察しているつもりが、カエルや虫等も見つけました。さっきのゲームの成果でしょうか。面白そうなものを持って帰り、顕微鏡で見ってみました。葉の気孔、アメンボの手、カエルの吸盤、蛾の触角、花についた目には見えないような小さなアブラムシも見つけました。カラスノエンドウの実もきれいでした。最後に、おさらいをして、みんなから感想を聞きました。隠したもの探しゲームの人气が高かったようです。

(Y・I)

